平成30年度夏季研修会について　報告

平成30年8月7日（火）　本校体育館他

今年度は、「自立活動の指導」をメインテーマとし、本校自立活動部主任による「自立活動の指導」の講義、次に小学部、高等部での実践事例の発表を行いました。その後自立活動の区分別に班に分かれ、グループでの事例検討会を行いました。

講義では、新学習指導要領における自立活動の指導に関する説明をはじめ、自立活動は子どもたちの困難さに直接アプローチできる指導であることや（R）PDCA サイクル※を活用した指導について話がありました。

続いて本校小学部から「選択できる力を育てる環境づくり」として環境を整えることで児童が本来の力を発揮できるようになった実践、高等部から「肯定的に聞く力を育てる」ことを目指した具体的な指導実践が発表されました。

事例検討会では、申込み時に御記入いただいた「困っていること」を基に、「望ましい行動、目標」を考え、それに対する手立てを考えていきました。どのグループも活発に意見が交わされ、2 学期からの指導に生かせる手立てを考えることができました。

いろいろな御意見を生かし、来年度も夏季研修会を計画していきます。たくさんの御参加をよろしくお願いします。

※（R：実態調査）P：計画、D：実践、C：チェック、A：アセスメント

〈今回の講義のポイント〉

自立活動は、その子の困難、障害となっている「根っこの部分」に働き掛けることができる

有効な指導のためには

- 個別の支援計画を活用し（R）PDCA サイクルを作る
- 学習指導要領 6 区分 27 項目から、短期目標達成のために必要な指導内容を考える
- 指導に必要な教材、教具、言葉の掛け方などを工夫する（本校での実践、自立活動教材集などを参考に）

〈参加者の声（アンケートより）〉

〈講義〉

- まずは何でもやってみて、その子その子の課題に合ったものを見極め、継続して実践していく必要があることが分かった。
- ポイントを分かりやすく話していただき、自立活動は子どもの困っていることを減らしていくための大切な時間ということが分かりました。

〈事例検討会〉

- 様々な意見や方法が聞けて、とても勉強になりました。困っているのは自分だけではないと分かり、少し安心しました。